

2016年度 第5回 西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録（確定稿）

- 開催日時：2017年1月17日（火）18時00分～19時30分
- 開催場所：田無総合福祉センター 第1会議室（3階）
- 出席委員：阿部恵子、五十嵐強、辻信明、野崎信行、渡辺裕一
＜以上5名、敬称略、五十音順＞
- 出席職員：小平福祉活動推進課長、飯塚ボランティア・市民活動センター係主任、
嶋田主事、長山コーディネーター

資料 1：西東京ボランティア・市民活動センター事業月次報告(2016年11～12月)
資料 2：コーディネート状況等月次報告(2016年11～12月)
資料 3：ボランティアコーディネート実績(2016年11～12月)
資料 4：2016年度西東京ボランティア・市民活動センター予定表（2017年1～2月）
資料 5：ボランティアはじめて講座 参加者基本データ
資料 6：ボランティアはじめて講座 アンケート集計結果
資料 7：2016年度第4回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録＜未定稿＞
資料 8：西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会設置規則
資料 9：西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会委員選出要領
資料 10：2017年度西東京ボランティア市民活動センター運営委員会委員留任予定者名簿
資料 11：2017年度西東京ボランティア市民活動センター運営委員会委員候補者名簿
資料 12：西東京ボランティア・市民活動センター2017年度の取り組みについて
資料別紙：ぼらんていあ倶楽部 第94号
資料別冊：2016年度第3回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録＜確定稿＞

1. 報 告 事 項

(1). 業務報告（2016年11月・12月）について

○事務局より資料1～3に基づき、2016年11月から12月末までの業務について報告を行う。

○質疑および意見

委 員：ボランティア保険の加入者が12月に増えた理由は何か。

事務局：団体の方で、毎年この時期に活動があるという方がまとまって加入された。

委員長：新年会や忘年会で特技披露というのがあるが、どのようなものか。

事務局：新年会はおめでたい感じの和風なものが多い。銭太鼓やかっぱれが多い。

委 員：児童の見守りの活動内容を教えてほしい。

事務局：会議中に別室で小学校低学年と未就学児が自由に遊ぶ状況をケガがないように見守る活動となっている。最近はゲーム機を持ってくる子もあり、一緒に遊ぶというのは少ない。

委 員：けがをした時の保険は加入されているのか。

事務局：ボランティア保険に加入はしており、ボランティアの関係するものはボランティア保険で対応ができる。子供が躓いたり、喧嘩した場合の保険対応はできない。

委員長:この流れで(2)の業務予定はあとに回し、先に(3)のはじめて講座について話をしてほしい。

(3). 3係合同ボランティアはじめて講座の実施報告について

○事務局より資料5・資料6に基づき報告をする。

○質疑および意見

委員:問4の「紹介を受けて活動したい・詳しく話を聞いてみたい」に無回答が多かったのは、社協の内容をよくわかっていない人が多いことを表しているのではないか。

事務局:その通りと思われる。配布資料も多く、参加者が混乱してしまった様子も見受けられた。

委員:中身が同じに見えるが名前が違ったり、紙の色が違うがどう違うのかが分かりづらい。
また、参加者の話によれば傾聴の話は難しかったようだ。すでに習った者としては復習としてよかったが、初めての方には難しかったようだ。

委員長:どのようなものを配布するかをそれぞれで持ち寄って打ち合わせをしたかという点、特に差別化を図るために違いを明確にしているかという点が不足していたのではないか。

委員:社協のそれぞれの担当職員も出ていると思うが。

事務局:課内会議で企画化されているので、責任ある立場の職員によって作り上げた。

委員:助け合い活動といっても全てが助け合い活動なので、聞いている人はわからないと思う。

事務局:資料の整理も説明方法の整理もできていなかった点が反省点である。

委員長:これは参加した人だけでなく、市民に対しても通じているのではないか。

目的や対象によって区分けするなど軸を作らなくてはいけないかもしれない。

事務局:これを糧に次回はわかりやすく整理して伝えていこうという話しをしている。

委員:裏を返せば、違いが分かりにくということを示している1つの根拠になっていると思われる。これをもって募集の仕組みを一つにするというのも手なのではないか。

委員長:これまで運営委員会でやってきたことを具現化したものであろう。

委員:ボラセンでボランティアを一括募集し、それぞれのところに振り分ければわかりやすい。
りんくやほっとネットの対象者等は違うかもしれないが、市民には違いが分かりづらい。

委員:活動の種類を明示して、申し込み先を一本化すればよい。

委員長:3係の中ですり合わせをすればよいのではないか。対象による区別など、仮でも良いので作って分担してはどうだろうか。

委員:同じ問4で、なぜ地域活動拠点に対する関心や活動希望が4名あったのか等を知りたい。

委員長:アンケートで理由がわかるものではないので難しいだろう。

事務局:地域活動拠点は、参加しやすいイメージを持ってもらえたのかもしれない。

委員:そういう意味では、ある意味、違いが伝わったのかもしれない。

事務局:りんくやほっとネットは講習会を受けないといけないという部分もあり、負担感が大きかった部分もあったと思われる。

委員長:傾聴が難しいという話もあったが、どういうところで難しいと感じるのだろうか。

委員:ロールプレイをするにあたって、時間や人数の制限で十分にできなかったため、それぞれのポジションも経験できず、ちょっと体験しただけでは『できなかった』というイメージが強くなってしまい、余計に難しく感じてしまったと思われる。

委員長:問5の他に知りたかったことという問いに対する回答で、『居場所づくりの活動の中での重

要性を知らせる講座』というのはどのような意味なのだろうか。

事務局：回答者の意図はわからないが、恐らく、居場所づくりの活動をされている方々に傾聴活動の重要性を知ってもらえるような講座があればいいなということだと考える。

委員長：人数的にも比較的多く集まってもらい、3係で取り組む際の課題も見えて良かった。

委 員：実際に活動しているボランティア団体の方々の紹介と募集があっても良かった。

事務局：3係を受け入れ対象とした講座であったが、もしかしたら傾聴ボランティアグループが加わればもっと参加者を受け止められたかもしれない。

委員長：個人がボランティアに参加するきっかけとして、誘われて始めた方が多いという調査結果もある。この入り方のほうが自然で安心感があるだろう。

委員長：ボラセンにたまり場を作りたい、居場所を作りたいという意見が以前に出たこともあったが、とても良いと考える。

事務局：何年前に出ているが、なかなか実現できない。場所としては、1階の活動室で午後の時間帯に自由に使えるようにしている。万が一、ボランティア一人だけの来訪だと広がらないので、初めのうちは職員がつくことが必要であるとは考えている。慣れてくれば広がってきて、職員がいなくても良くなると思う。

委 員：そういうボランティアを募っても良いかもしれない。職員がいなくてはいけないというよりも、ボランティアが順番に対応してくれるようになれば良いと思う。

事務局：静岡県のボランティア協会では、まさにたまり場となっていた場所があった。近い将来に実現するようになったら良い。

委員長：枠を作るとなかなか難しいので、自然発生的にできると良い。期待しています。

委員長：では、一つ戻って業務予定についてお願いしたい。

(2). 業務予定（2017年1月・2月）について

○事務局より資料4に基づき、2017年1月から2月末までの業務予定について報告をする。

○質疑および意見・・・特になし

2. 審 議 事 項

(1). 2016年度第4回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録(未定稿)について

●2016年度第3回運営委員会の記録について確認を行い、確定稿とする。

3. 協 議 事 項

(1). 2017年度運営委員について

○事務局より資料8から資料11に基づき説明を行う。

○質疑および意見交換

委員長：優先順位の入れ替えや他の候補者などについてご意見をお願いしたい。

事務局：優先順位はついていますが、選出区分をある程度考慮して分野や区分が偏らないように選出したい。

委員長：青年会議所や企業が参加してもらえらるなら、ものの見方が変わってよいのではないか。

また、できるだけ若い方々に参加してほしい。

委員長：声をかけるのはいつごろからどうやって声掛けをするか。

事務局：これで当たっていくことが認められれば、すぐにでも調整をはじめ、優先順位の高い方から当たっていきたいと考えている。

(2). 2017 年度の取り組みについて

○事務局より資料 1 2 に基づき説明を行う。

○質疑および意見交換

委員長：3 係合同の企画をどこかにいれてもらうことはできるか。見せ方を整理してほしい。

委 員：計画の文言そのものか。そうであるなら(1)『視野に入れながら…』の続きに『ふれまち助け合い活動、ほっとネット、りんくを横断的につなぎ…』という文言を入れたらどうか。

委員長：次期運営委員の話に戻るが、地域包括支援センター職員を加えることはいかがか。

事務局：ケアマネのほうがつながりは深い。また候補者の中には以前に地域包括支援センターの職員もいるので、対応は可能かと思われる。

委員長：今後、地域包括支援センターの視点・知識が必要かと思われる。

委員長：オリンピック対策はどうなるのだろうか。

事務局：情報がまったく入ってきていない。いくつかの情報が流れているが、はっきりとした方向性はまだ決まっていないようだ。平成 29 年度以降になるのではないか。

委員長：学校にボランティアの養成等の話が来ていたりするのか。

委 員：学校にはボランティア体験を含め、参加する国々の理解を深めること、関心を持つこと等が求められている。

4. そ の 他

(1). 次回運営委員会開催日程について

■開催日時：2017 年 3 月 14 日（火）18 時 30 分～20 時 30 分まで

■開催場所：田無総合福祉センター 4 階 第 3 会議室

●以上をもって、2016 年度第 5 回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会の審議、協議を終了し、閉会した。